

# 国内実態調査報告書

---

テーマ : 那覇市の市況について  
ゼミ名 : 平澤 敦 ゼミ  
調査日 : 2024年11月17日(日)～11月18日(月)  
調査先 : 那覇市公設市場  
授業科目名 : 演習Ⅱ  
参加学生数 : 10名(3年生)

## 調査の趣旨(目的)

沖縄国際大学における合同ゼミにおいて、小職のゼミは沖縄と東京の比較を多角的な視点から報告したが、これとの関連で、沖縄国際大学の髭白先生のご指導により、沖縄的那覇公設市場における現況について、理解することを目的とした。

## 調査結果

那覇市の第一牧志市公設市場は、昭和25年12月(昭和47年10月改築、令和元年7月から仮設市場に移転、令和5年3月改築)に設立されている。公式HPによれば、「2000年代に入ると施設の老朽化などに伴う調査などをもとに施設の建て替えが検討され、2019年に仮設市場へ移行。周辺の商店街なども含めたマチグラーの商業や文化交流のための中核となる施設として、4年の歳月を経て2023年3月に新しい第一牧志公設市場が誕生した」とのことである。那覇市の中心街にある国際通りから徒歩数分のところにあり、国内外を問わず、観光客で連日賑わっている。近辺には、新旧の飲食店ならびに土産物店、他もあり、沖縄の特産物を見て、食することもできる。沖縄国際大学の髭白先生の詳細なレクチャーとともに、公設市場との比較において、東京や他府県には見られない特質・特徴について理解することができ、有意義な実態調査となった。